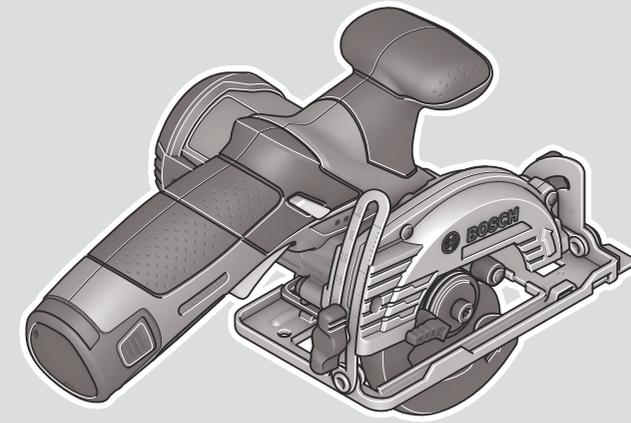


Japan



**ボッシュ株式会社** 電動工具事業部

ホームページ： <http://www.bosch.co.jp>  
〒150-8360 東京都渋谷区渋谷 3-6-7

コールセンターフリーダイヤル

 **0120-345-762**

(土・日・祝日を除く、午前9:00~午後6:00)

\* 携帯電話からお掛けのお客様は、TEL. 03-5485-6161  
をご利用ください。コールセンターフリーダイヤルのご利用  
はできませんのでご了承ください。



1 609 92A 29K

1 609 92A 29K (2016.01)

## バッテリー丸のこ PKS 10.8Li



### 取扱説明書

このたびは、弊社バッテリー丸のこをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。  
ご使用になる前に、この『取扱説明書』をよくお読みになり、正しくお  
使いください。

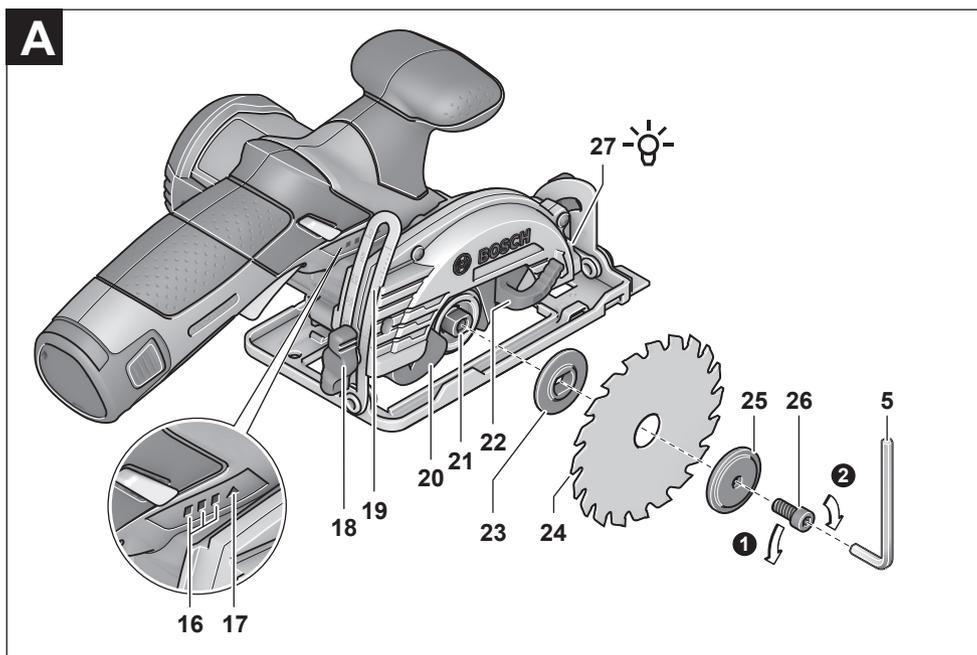
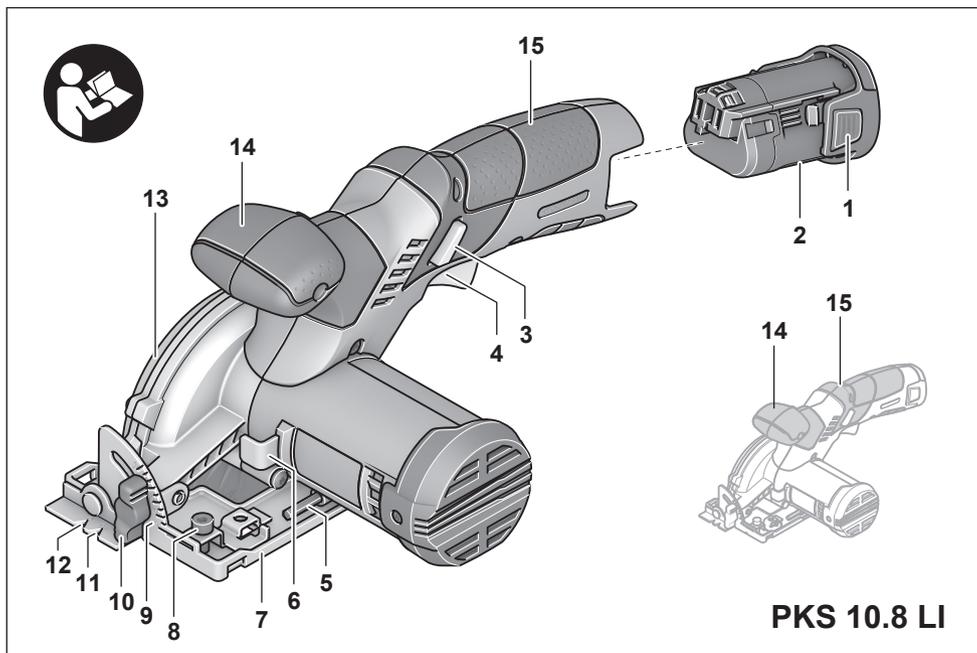
- ご使用になる前に、この『取扱説明書』をよくお読みになり、正しくお  
使いください。
- お読みになった後は、この『取扱説明書』を大切に保管してください。  
わからないことが起きたときは、必ず読み返してください。
- 充電については、『充電器の取扱説明書』を併せてお読みください。

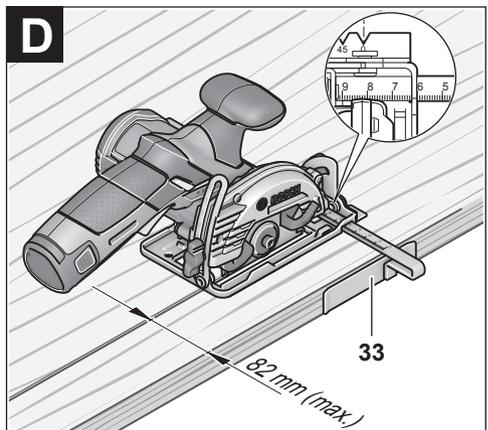
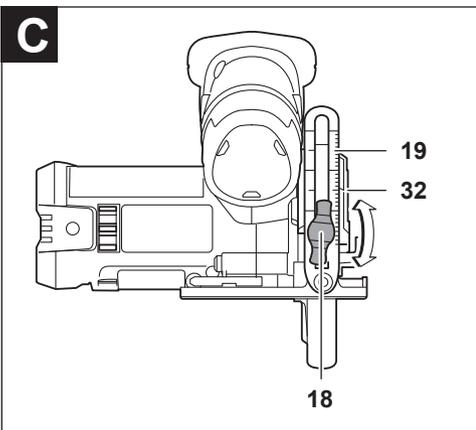
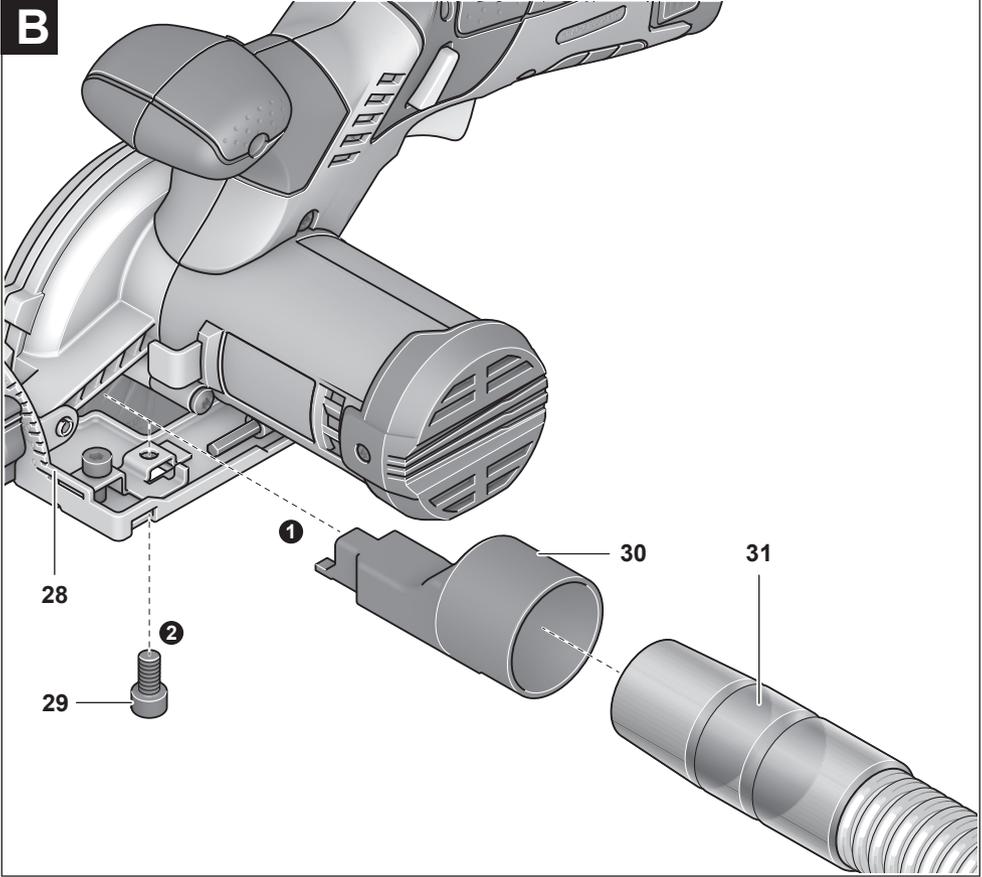
- 本取扱説明書に記載されている、日本仕様の能力・型番などは、外国語の印刷物とは異なる場合があります。
- 本製品は改良のため、予告なく仕様等を変更する場合があります。
- 製品のカタログ請求、その他ご不明な点がございましたら、お買い求めになった販売店または弊社までお問い合わせください。

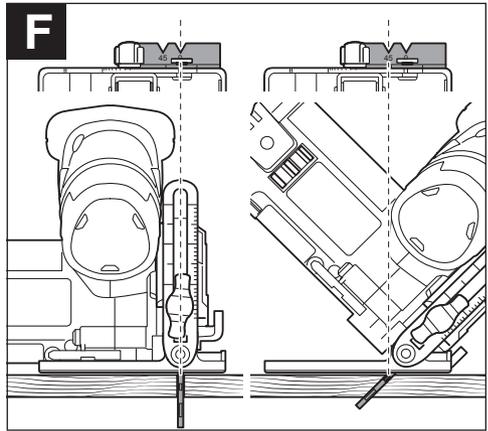
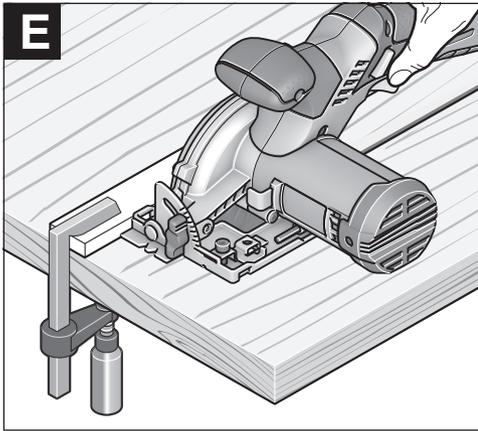


安全上のご注意.....	7
警告表示の区分 .....	7
バッテリー工具全般についての注意事項 .....	7
バッテリー丸のこについての注意事項 .....	11
本製品について.....	13
用途 .....	13
各部の名称 .....	13
仕様 .....	14
適合宣言 <b>CE</b> .....	14
バッテリーを準備する.....	15
バッテリーを点検する .....	15
バッテリーを充電する .....	15
バッテリー残量表示ランプ.....	15
バッテリーを取り付ける・取り外す .....	16
取り付け.....	16
取り外し.....	16
作業前の準備をする.....	16
のこ刃を取り付ける・取り外す (図 A 参照) .....	16
取り付け.....	16
取り外し.....	17
切り込み深さを調節する (図 C 参照) .....	18
切り込み角度を調節する .....	18
粉じん・切り粉の処理 .....	18

切断する.....	19
温度コントロール／過負荷保護表示ランプ .....	20
電子セル保護システム .....	20
平行ガイドを使用して切断する（図 D 参照） .....	21
角材などを使用して切断する（図 E 参照） .....	21
吸じんシステム（別売）と接続する（図 B 参照） .....	21
困ったときは.....	22
故障かな？と思ったら .....	22
修理を依頼するときは .....	22
お手入れと保管.....	23
クリーニング .....	23
保管 .....	23
輸送.....	23
廃棄.....	23
使用済みバッテリーのリサイクルにご協力ください .....	23







## 安全上のご注意

- ◆火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、次に述べる『安全上のご注意』を必ず守ってください。
- ◆ご使用前に、この『安全上のご注意』全てをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- ◆お読みになった後は、ご使用になる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- ◆他の人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

## 警告表示の区分

ご使用上の注意事項は **危険**、**警告**、**注意** に区分していますが、それぞれ次の意味を表わします。

**危険** 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が大きい内容のご注意。

**警告** 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

**注意** 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、**注意**に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

## バッテリー工具全般についての注意事項

ここでは、バッテリー工具全般の『安全上のご注意』についてご説明します。今回お買い求めいただいた製品には、当てはまらない項目も含まれています。

### 危険

1. 専用のバッテリー以外を使用しないでください。

- ◆この取扱説明書に記載されているバッテリー以外は充電しないでください。
- ◆改造したバッテリー（分解して、セルなどの内蔵部品を交換したバッテリーを含む）を使用しないでください。

工具本体の性能や安全性を損なう恐れがあり、けがや故障、発煙、発火などの原因となります。

2. バッテリーを火中に投入したり、加熱したりしないでください。



3. バッテリーに釘を刺したり、衝撃を与えたりしないでください。

4. バッテリーを分解したり、改造したりしないでください。

5. バッテリーの端子間を短絡させないでください。

- ◆バッテリーを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。



6. バッテリーを火のそばや炎天下などの高温の場所で充電・使用・保管しないでください。

発熱・発火・破裂の恐れがあります。

## 7. 専用の充電器以外では、充電しないでください。

- ◆他の充電器でバッテリーを充電しないでください。

バッテリーの液漏れや発熱、破裂の恐れがあります。

### 警告

## 1. 正しく充電してください。

- ◆充電器は、定格表示してある電源で使用してください。直流電源やエンジン発電機では、使用しないでください。
- ◆温度が0℃未満、または温度が45℃以上ではバッテリーを充電しないでください。
- ◆バッテリーは、換気の良い場所で充電してください。充電中、バッテリーや充電器を布などで覆わないでください。
- ◆充電器を使用しない場合は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

## 2. 感電に注意してください。

- ◆ぬれた手で電源プラグに触れないでください。

## 3. 作業場の周囲状況も考慮してください。

- ◆バッテリー工具、充電器、バッテリーは、雨中で使用したり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。
- ◆作業場は十分に明るくしてください。
- ◆可燃性の液体やガスのある所で使用したり、充電しないでください。



## 4. 保護めがねを使用してください。

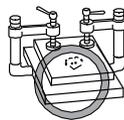
- ◆作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。

## 5. 防音保護具を着用してください。

- ◆騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音保護具を着用してください。

## 6. 加工するものをしっかりと固定してください。

- ◆加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手でバッテリー工具を使用できます。



## 7. 次の場合は、バッテリー工具のスイッチを切り、バッテリーを本体から抜いてください。

- ◆使用しない、または修理する場合。
- ◆刃物、ビットなどの付属品を交換する場合。
- ◆その他危険が予想される場合。



## 8. 不意な始動は避けてください。

- ◆スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- ◆バッテリーを差し込む前にスイッチが切れていることを確認してください。

## 9. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- ◆この取扱説明書、およびボッシュ電動工具カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものは使用しないでください。

## 10. バッテリーの液が目に入ったら直ちにきれいな水で十分洗い、医師の治療を受けてください。

## 11. 使用時間が極端に短くなったバッテリーは使用しないでください。

## 12. ご使用済みのバッテリーは、一般家庭ゴミとして捨てないでください。捨てられたバッテリーが、ゴミ収集車内などで破壊されてショートし、発火・発煙の原因になる恐れがあります。

 **注意**
**1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。**

ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。

**2. 子供を近づけないでください。**

- ◆ 作業員以外、バッテリー工具や充電器のコードに触れさせないでください。
- ◆ 作業員以外、作業場へ近づけないでください。

**3. 使用しない場合は、きちんと保管してください。**

- ◆ 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。
- ◆ バッテリー工具やバッテリーを、温度が50℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。

**4. 無理して使用しないでください。**

- ◆ 安全に能率よく作業するために、バッテリー工具の能力に合った速さで作業してください。
- ◆ モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。

**5. 作業に合ったバッテリー工具を使用してください。**

- ◆ 小型のバッテリー工具やアタッチメントは、大型のバッテリー工具で行う作業には使用しないでください。
- ◆ 指定された用途以外に使用しないでください。

**6. きちんとした服装で作業してください。**

- ◆ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので、着用しないでください。
- ◆ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。



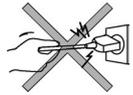
- ◆ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

**7. バッテリー工具は、注意深く手入れをしてください。**

- ◆ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- ◆ 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- ◆ 充電器のコードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。
- ◆ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- ◆ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースなどが付かないようにしてください。

**8. 充電器のコードを乱暴に扱わないでください。**

- ◆ コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
- ◆ コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
- ◆ コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。

**9. 無理な姿勢で作業をしないでください。**

- ◆ 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。

**10. 調節キーやレンチなどは、必ず取り外してください。**

- ◆ スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取り外されていることを確認してください。

### 11. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。

- ◆屋外で充電する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

### 12. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。

- ◆バッテリー工具を使用する場合は、取り扱い方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- ◆常識を働かせてください。
- ◆疲れている場合は、使用しないでください。



### 13. 損傷した部品がないか点検してください。

- ◆使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ◆可動部分の位置調整、および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての個所に異常がないか確認してください。
- ◆電源プラグやコードが損傷した充電器や、落としたり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。
- ◆損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。  
取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。
- ◆スイッチで始動、および停止操作のできないバッテリー工具は、使用しないでください。



### 14. バッテリー工具の修理は、専門店に依頼してください。

- ◆サービスマン以外の人はバッテリー工具、充電器、バッテリーを分解したり、修理・改造は行わないでください。
- ◆バッテリー工具が熱くなったり、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
- ◆この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- ◆修理は、必ずお買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターにお申し付けください。修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

## バッテリー丸のこについての注意事項

バッテリー工具全般の『安全上のご注意』について、前項ではご説明しました。ここでは、バッテリー丸のこをお使いになるうえで、さらに守っていただきたい注意事項についてご説明します。

### 警告

#### 1. 使用するバッテリーは、取扱説明書に指定してあるものを装着してください。

◆指定外のバッテリーを装着すると、丸のこ本体に支障をきたすばかりでなく、発煙・発火の原因になります。

#### 2. のこ刃は、銘板に表示してある範囲内のものを使用してください。

◆指定外ののこ刃は、けがの原因になります。

#### 3. 機体を万力などで固定して使用しないでください。

◆固定して使うと、思わぬ事故の原因になります。

#### 4. 使用中は、回転部や切り粉の排出部に手や顔などを近づけないでください。

◆近づけると、けがの原因になります。

#### 5. 切断する個所に、電線管や水道管、ガス管など埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。

◆埋設物にのこ刃が触れると、感電・漏電・ガス漏れ事故の原因になります。

#### 6. 保護カバーは絶対に固定しないでください。また、円滑に動くことを確認してください。

◆のこ刃が露出していると、けがの原因になります。

#### 7. 切断する材料は、安定した台に置いてください。

◆不安定な台に置くと、けがの原因になります。

#### 8. 切り落とし寸前や切断中に、のこ刃が材料の重みではさみつけられないように、切断する部分に近い位置を支える台を設けてください。

◆のこ刃がはさみつけられると、けがの原因になります。

#### 9. 材料の切り落とし側が大きいときは、切り落とし側にも安定性の良い台を設けてください。また、切り落とした材料がのこ刃と接触し飛散するのを防ぐために、台の高さは、のこ刃の出しろの3倍以上にしてください。

◆このような台がないと、けがの原因になります。

#### 10. 切断途中で作業を中断する場合は、「メインスイッチ」を切り、回転が完全に止まってから本体を持ち上げてください。

◆のこ刃を回転させたまま本体を持ち上げたり、戻したりすると、強い反発が生じ、けがの原因になります。

#### 11. 誤って落としたり、ぶついたりしたときは、のこ刃や製品などに破損や亀裂、変形がないか点検してください。

◆破損や亀裂、変形があると、事故の原因になります。

#### 12. 作業中は、丸のこ本体を確実に保持してください。

◆確実に保持していないと、けがの原因になります。

#### 13. フル充電されたバッテリーを複数個続けて使用する作業では、丸のこ本体が冷めるための時間を設けてください。

◆複数個による連続作業は、本体に支障をきたすばかりでなく、本体の温度を上昇させて、低温やけどをする恐れがあります。

#### 14. 使用中、機械の調子が悪くなったり、異常音がしたりしたときは、直ちに「メインスイッチ」を切ってください。使用を中止し、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターに点検・修理を依頼してください。

◆そのまま使用していると、事故の原因になります。

15. スタンドなどの使用による定置作業は行わないでください。

◆定置作業は、事故の原因になります。

16. のこ刃を取り付けたり、取り外したりするときは、必ずバッテリーを本体から外してください。

◆外さないと、けがの原因になります。

 注意

1. のこ刃や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。

◆確実でないと外れたりし、けがの原因になります。

2. のこ刃にヒビや割れがないことを確かめてください。

◆のこ刃が破損し、けがの原因になります。

3. 取扱説明書に記載されている用途および能力以上の作業はしないでください。特にモーターをロックさせるなどの無理な使用はしないでください。

◆故障の原因になります。

4. 作業前に、人のいない方向にのこ刃を向けて空転させ、機体の振動やのこ刃のぶれなどの異常がないことを確認してください。

◆異常があるとけがの原因になります。

5. ブレーキが働くときの反発力に注意してください。

◆機体を落としたりし、けがの原因になります。

6. 高所作業のときは、下に人がいないかよく確かめてください。また、電源コードを引っ掛けたりしないでください。

◆材料や製品などを落としたりするとき、事故の原因になります。

7. 切断する材料の下に障害物がないことを確認してください。

◆強い反発が生じ、けがの原因になります。

8. 回転させたまま、台や床などに製品を放置しないでください。

◆事故の原因になります。

9. 材料の上に手を置いたまま切断しないでください。

◆誤って手を切ったりします。

10. 材料に釘などの異物がないことを確かめてください。

◆歯先が欠けたり、反発によりけがの原因になります。

11. 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れのある手袋は着用しないでください。

◆回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。

12. 切断直後、のこ刃は高温になっていますので、触れないでください。

◆やけどの原因になります。

13. 市販ののこ刃を使用する場合は、のこ刃に表示されている回転数が丸のこ本体の回転数を上回っているか確認してください。

のこ刃の回転数  $>$  丸のこ本体の回転数  
 $1400\text{min}^{-1}$  (回転/分)

◆丸のこ本体の回転数以下ののこ刃を使用すると、のこ刃が外れたりし、けがの原因になります。

14. のこ刃は不用意に触れると危険です。取り扱いには手袋などを着用してください。

◆手袋などを着用しないと、けがの原因になります。

## 本製品について



**安全上の注意事項と操作方法を全て読んでください。** 注意事項や操作方法を守らないと、感電、火災、重大なけがにつながります。

### 用途

木材の縦引きおよび横引きに使用します。垂直切りと角度切りができます。本機のライトは、作業範囲を照らすために使用するもので、室内照明には適しません。

- ※ 切断砥石・金属切断用チップソーは使用できません。
- ※ 本製品は、ご家庭での使用を想定した「DIY用」製品です。

### 各部の名称

番号は、イラストページに記載されている番号に対応しています。

- 1 バッテリー取り外しボタン
- 2 バッテリー
- 3 安全ロックスイッチ
- 4 メインスイッチ
- 5 六角棒レンチ
- 6 スピンドルロックボタン
- 7 ベースプレート
- 8 平行ガイド固定ネジ
- 9 切り込み角度ゲージ
- 10 切り込み角度調節ネジ
- 11 切断位置マーク 45°
- 12 切断位置マーク 0°
- 13 のこ刃カバー
- 14 補助ハンドル（絶縁グリップ）
- 15 グリップ（絶縁グリップ）
- 16 バッテリー残量表示ランプ
- 17 温度コントロール／過負荷保護表示ランプ
- 18 切り込み深さ調節ネジ
- 19 切り込み深さゲージ
- 20 保護カバー

- 21 スピンドル
- 22 保護カバー開閉レバー
- 23 内フランジ
- 24 のこ刃
- 25 外フランジ
- 26 のこ刃固定ボルト
- 27 ライト
- 28 切り込み角度基準マーク
- 29 吸じんアダプター固定ネジ
- 30 吸じんアダプター
- 31 吸じんホース※
- 32 切り込み深さ基準マーク
- 33 平行ガイド

※ 標準付属品ではありません。  
アクセサリはボッシュアクセサリカタログまたはホームページ (<http://www.bosch.co.jp>) をご覧ください。

## 仕様

バッテリー丸のこ		
型番		PKS 10. 8Li
定格電圧	V	10. 8
無負荷回転数	min <sup>-1</sup>	1400
最大切り込み深さ		
0°	mm	26
45°	mm	17
スピンドルロック		あり
ベースプレート寸法	mm	147 × 88
のこ刃直径	mm	85
のこ刃内径	mm	20
最大取り付け可能のこ刃厚さ	mm	1. 1
最小取り付け可能のこ刃厚さ	mm	1. 0
使用できるのこ刃の内径	mm	15
質量	kg	1. 4
充電可能温度範囲	°C	0 ~ 45
使用/保管可能温度範囲*	°C	- 20 ~ + 50
振動3軸合成値 (EN60745 規格に基づき測定)	m/s <sup>2</sup>	1. 0

\* 0°C以下の環境では、設計上の十分な動作ができません。

## 適合宣言 CE

われわれは当社単独の責任において、仕様詳細に示された製品が、2009/125/EC (欧州委員会規則 1194/2012)、2011/65/EU、2004/108/EC (2016年4月19日まで)、2014/30/EU (2016年4月20日以降)、2006/42/ECの諸指令の関連条項とその修正全てに適合していること、またEN 60745-1、EN 60745-2-5の規格に準拠していることを宣言します。

技術資料 (2006/42/EC) 保管地:

Robert Bosch GmbH, PT/ETM9,  
70764 Leinfelden-Echterdingen, GERMANY

ヘンク・ベッカー      ヘルムート・ハインツェ  
副社長                      ルマン  
技術部門                      製品認証責任者  
PT/ETM9

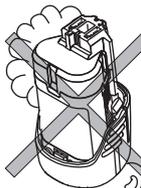
PPA  
 i.V. 

Robert Bosch GmbH, Power Tools Division  
70764 Leinfelden-Echterdingen, GERMANY  
2015年3月25日

## バッテリーを準備する

### バッテリーを点検する

- バッテリーは弊社指定のものか？
- バッテリーから液漏れが発生していないか？
- バッテリー端子が傷んでいたり、汚れていたりしていないか？



### バッテリーを充電する

充電については、『充電器の取扱説明書』を併せてお読みください。

#### ⚠ 危険

- ▶ 破損防止のため、弊社指定の充電器を使って、バッテリー 2 を充電してください。

#### ⚠ 警告

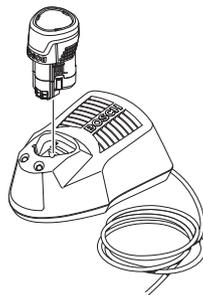
- ▶ バッテリー 2 が熱くなっているときは、冷めてから充電してください。
- ▶ エンジン発電機・変圧器で充電器を使用しないでください。
- ▶ 電源に 100V が確実に供給されていることを確認してください。特に、延長ケーブルを使用するときは必ず事前に確認してください。
- ▶ バッテリー挿入口に異物が入らないよう注意してください。ショートの原因になります。

#### ⚠ 注意

- ▶ 自動停止した後は、メインスイッチ 4 を押し続けしないでください。バッテリー 2 が損傷します。

**備考：**バッテリー 2 が空になった場合、保護回路が働き、本機の電源が切れます。この刃 24 は回転しません。

1. 充電器の電源プラグを電源コンセントに差し込みます。
2. 充電器にバッテリー 2 を差し込みます。充電が始まります。
3. 充電が終わったら、バッテリー 2 を充電器から抜きます。
4. 充電器の電源プラグを電源コンセントから抜きます。



正しく充電しても使用能力が著しく低下するようになった場合は、バッテリー 2 の寿命が尽きたと考えられます。新しいバッテリー 2 と交換してください。

本体が過負荷になった場合や、バッテリー 2 が過放電または作業可能温度外になった場合には、バッテリー保護のために本体が自動的に停止します。

### バッテリー残量表示ランプ

バッテリー 2 の残量（目安）は、本体のバッテリー残量表示ランプ 16 の表示で知ることができます。バッテリー残量表示ランプ 16 は、メインスイッチ 4 を引き込むと点灯します。

表示ランプ	バッテリー残量
緑色 3 つ点灯	2/3 以上
緑色 2 つ点灯	1/3 以上
緑色 1 つ点灯	1/3 未満
緑色 1 つ点滅	要充電

メインスイッチ 4 を押したときに、表示ランプが 1 つも点灯しない場合は、バッテリー 2 に欠陥がありますので、交換してください。

## バッテリーを取り付ける・取り外す

### ⚠ 警告

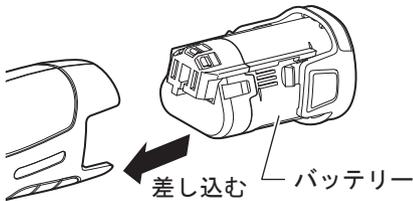
- ▶ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、安全ロックスイッチ3が“安全ロック(中央)”の位置になっていることを確認してから、バッテリー2の取り付け・取り外しを行ってください。

### 取り付け

バッテリー2を、丸のこ本体のバッテリー差し込み口に“カチッ”と音がするまで押し込みます。

### ⚠ 注意

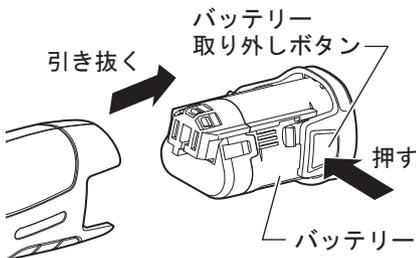
- ▶ 不意の脱落を防ぐため、確実に固定されているか確認してください。



### 取り外し

バッテリー取り外しボタン1を両側から押しながら、バッテリー2を丸のこ本体から引き抜きます。

バッテリー2は、不意にバッテリー取り外しボタン1を押しても、バッテリー2が落下しないよう、二重ロックになっています。丸のこ本体に装着されている間、バッテリー2はバネによって保持されています。無理な力を加えて引き出さないでください。



## 作業前の準備をする

### のこ刃を取り付ける・取り外す (図A参照)

### ⚠ 警告

- ▶ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、のこ刃24を取り付けたり、取り外したりするときは、丸のこ本体からバッテリー2を取り外してください。
- ▶ のこ刃24を取り付けるときは、保護手袋を着用してください。のこ刃24に触るとけがをする危険があります。
- ▶ 取扱説明書に記載された仕様に合ったのこ刃24を使用してください。
- ▶ どのような場合でもグラインディングディスクを切断工具として使用しないでください。

### ⚠ 注意

- ▶ のこ刃24の取り付け、取り外しは、付属の六角棒レンチ5を使用して作業を行ってください。他の工具を使用して作業すると、締め過ぎや締め付け不足になり、けがの原因になります。

### 取り付け

1. モーターハウジング側を下にして本体を置きます。
2. スピンドル21周辺の切り粉、ホコリを取り除きます。
3. スピンドルロックボタン6を押しながら、六角棒レンチ5(標準付属品)でのこ刃固定ボルト26を反時計方向(図Aの①の方向)に回して緩めます。

**備考:** スピンドル21には、スピンドルロックボタン6がかみ合う位置があります。スピンドルロックボタン6を押しながら、のこ刃固定ボルト26を回し、スピンドル21が確実にロックする位置を探してください。スピンドル21がロックする位置では、スピンドルロックボタン6が一段深く押し込めます。

4. スピンドル **21** からのこの刃固定ボルト **26**、外フランジ **25**、内フランジ **23** を取り外します。
5. この刃 **24**、この刃固定ボルト **26**、外フランジ **25**、内フランジ **23** を清掃します。
6. 内フランジ **23** の凸部を本体側に向けてスピンドル **21** の凹部にはめ込みます。
7. 保護カバー開閉レバー **22** をスライドさせて、保護カバー **20** をいっぱいまで引き上げて保持します。
8. この刃 **24** をスピンドル **21** にはめ込みます。

**備考：** この刃 **24** に刻印された矢印が、この刃カバー **13** の矢印と同じ向きになるように、この刃 **24** を取り付けてください。

9. 保護カバー開閉レバー **22** を離します。
  10. 外フランジ **25** の凸面を外側に向けてスピンドル **21** のボルト穴に合わせて置きます。
  11. この刃固定ボルト **26** を差し込みます。
  12. スピンドルロックボタン **6** を押しながら、六角棒レンチ **5** でのこの刃固定ボルト **26** を時計方向（図 A の②の方向）に回して締めます。
- 備考：** スピンドル **21** がロックされていないと、この刃固定ボルト **26** を締め付けることはできません。締め付けトルクは 6 ~ 9Nm の範囲です。手で締めた後さらに 1/4 回転締めた状態に相当します。
13. スピンドルロックボタン **6** を離します。

## 取り外し

1. モーターハウジング側を下にして本体を置きます。
2. スピンドルロックボタン **6** を押しながら、六角棒レンチ **5**（標準付属品）でのこの刃固定ボルト **26** を反時計方向（図 A の①の方向）に回して緩めます。

**備考：** スピンドル **21** には、スピンドルロックボタン **6** がかみ合う位置があります。スピンドルロックボタン **6** を押しながら、この刃固定ボルト **26** を回し、スピンドル **21** が確実にロックする位置を探してください。スピンドル **21** がロックする位置では、スピンドルロックボタン **6** が一段深く押し込めます。

3. スピンドル **21** から、この刃固定ボルト **26** と外フランジ **25** を取り外します。
  4. 保護カバー開閉レバー **22** をスライドさせて、保護カバー **20** をいっぱいまで引き上げて保持します。
  5. この刃 **24** を取り外します。
  6. 保護カバー開閉レバー **22** を離します。
  7. 外フランジ **25** の凸面を外側に向けてスピンドル **21** のボルト穴に合わせて置きます。
  8. この刃固定ボルト **26** を差し込みます。
  9. スピンドルロックボタン **6** を押しながら、六角棒レンチ **5** でのこの刃固定ボルト **26** を時計方向（図 A の②の方向）に回して締めます。
- 備考：** スピンドル **21** がロックされていないと、この刃固定ボルト **26** を締め付けることはできません。
10. スピンドルロックボタン **6** を離します。

## 切り込み深さを調節する (図 C 参照)

### ⚠ 警告

▶ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、切り込み深さを調節するときは、丸のこ本体からバッテリー 2 を取り外してください。

1. 切り込み深さ調節ネジ 18 を緩めます。
2. ベースプレート 7 の後方（切り込み深さ調節ネジ側）を上下に動かして、切り込み深さを調節します。  
ベースプレート 7 を下げると切り込み深さは浅くなり、ベースプレート 7 を上げると切り込み深さが深くなります。

**備考：**最適な切断をするためには、のこ刃 24 の刃先が材料下面から 3 mm 以上はみ出さないようにしてください。

3. 切り込み深さ調節ネジ 18 を締めめます。

### ⚠ 注意

▶ 切り込み深さ調節ネジ 18 は、確実に締め付けてください。

**備考：**切り込み深さゲージ 19 の目盛りは目安です。正確な深さに調節したいときは、実際に測って調節してください。

## 切り込み角度を調節する

1. 切り込み角度調節ネジ 10 を緩めます。
2. 切り込み角度ゲージ 9 の目盛りを見ながら、ベースプレート 7 を必要な角度に傾けます。  
切断角度は 0° ~ 45° に設定できます。
3. 角度計（直角の場合はスコヤ）などを使用し、希望通りの切り込み角度になっているか確認します。

**備考：**切断作業前に切り込み角度を確認してください。

4. 切り込み角度調節ネジ 10 を締めめます。

**備考：**角度切断では、切り込み深さゲージ 19 の設定より切り込み深さが浅くなります。

## 粉じん・切り粉の処理

▶ 鉛コーティングしてある材料やある種の木材、鋳物や金属を切断するときに発生する粉じんは、健康に悪影響を与える恐れがあります。作業者や見学者が粉じんを触ったり吸い込んだりすると、アレルギー反応、あるいは呼吸器感染症を引き起こす可能性があります。

オーク材やブナ材の粉じん、特に木材処理添加物（クロム酸、防腐剤）を使用している場合は、発がん性があると考えられています。アスベストを含む材料への作業は、専門知識のある方にのみ許されています。

- 高度な粉じん処理を行うには、本機と一緒に適切な吸じんシステムを使用してください。
- 作業場の換気を良くしてください。
- RS2/RL2 クラスのフィルター付き防じんマスクの着用をお勧めします。

切断する材料に関する関連規則を遵守してください。

## 切断する

### ⚠ 警告

- ▶ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、バッテリー 2 を取り付ける前に、安全ロックスイッチ 3 が“安全ロック（中央）”の位置になっていることを確認してください。

### ⚠ 注意

- ▶ メインスイッチ 4 から指を離すと同時にブレーキがかかります。ブレーキがかかると反発力が発生しますので、機体をしっかり保持してください。機体をしっかり保持していないと、機体を落としたりして、けがの原因となります。
- ▶ ご使用前に、ブレーキがかかることを確認してください。万一、正常に作動しない場合は使用を中止し、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。

### 1. 材料を確実に固定します。

材料の固定には、クランプや万力を使用してください。

### 2. のこ刃 24、保護カバー 20 を点検します。

- のこ刃がしっかりと取り付けられているか？
- のこ刃が曲がったり、刃先が欠けていたりしていないか？
- のこ刃が摩耗していないか？
- 切り粉がたまっていないか、保護カバーがスムーズに動くか？

**備考：**切断性能と切断品質は、主にのこ刃 24 の状態や刃の形状によって決まります。切断する材料に合った鋭利なのこ刃を使用してください。

**備考：**のこ刃 24 は、木材の種類や品質、縦引きか横引きか、によって適切に選択してください。

### 3. 切り込み深さを確認します。

切り込み深さが正しく調節されているか確認してください。

最適な切断をするためには、のこ刃 24 の刃先が材料下面から 3 mm 以上はみ出さないようにしてください。

### 4. 本体にバッテリー 2 を取り付けます。

バッテリー 2 を、丸のこ本体のバッテリー差し込み口に“カチッ”と音がするまで押し込みます。

### ⚠ 警告

- ▶ 丸のこ本体の銘板に記載された電圧のボッシュ純正リチウムイオンバッテリーのみを使用してください。他のバッテリーを使用すると、けがや火災につながる恐れがあります。

### ⚠ 注意

- ▶ 不意の脱落を防ぐため、確実に固定されているか確認してください。

### 5. 本体を材料にセットします。

材料の上にベースプレート 7 の先端部を置きます。けがき線に切断位置マーク 11・12 を合わせます。

**備考：**のこ刃 24 が材料に当たらないようにしてください。

切断位置マーク（図 F 参照）ベースプレート 7 には、“45”と“0”の切断位置マーク 11・12 があります。“0”は垂直切断時ののこ刃位置を、“45”は 45° 切断時ののこ刃位置を示します。

## 6. メインスイッチ 4 を操作します。

**スイッチ ON**：安全ロックスイッチ 3 を左右どちらかに押し込みながら、メインスイッチ 4 を引き込みます。

安全ロックスイッチ 3 が押し込まれていないと、メインスイッチ 4 は引き込めません。メインスイッチ 4 を引き込んだ後は、安全ロックスイッチ 3 を離します。

**スイッチ OFF**：メインスイッチ 4 から指を離します。

**備考**：安全のため、メインスイッチ 4 はロックしません。操作の間引き続けてください。

バッテリー 2 の消耗を防ぐため、使用するときだけスイッチを操作してください。

**備考**：メインスイッチ 4 を引き込むと、ライト 27 が点灯します。

## 7. 切断を始めます。



### 警告

▶ 作業中に振り回されないよう、本体をしっかりと保持して、作業してください。



### 注意

▶ 切断時、丸のこ本体は軽く押すだけで十分です。必要以上に強く押し付けると、のこ刃を傷めて切断効率が下がったり、本体が故障したりします。

負荷が掛かりすぎてのこ刃が止まった場合は、直ちにメインスイッチ 4 を切り、作業を中断してください。

▶ 丸のこ本体をこじったり、材料に強く押しつけたりするような使い方はしないでください。反発（キックバック）の起こる可能性があり、たいへん危険です。

**備考**：のこ刃 24 が材料に触れない状態で、メインスイッチ 4 を“ON”にし、回転が十分に上がってから切断を始めてください。

**備考**：切断は、ベースプレート 7 を材料に密着させ、けがき線に沿って、まっすぐ、ゆっくり本体を押し進めます。

**備考**：本体のグリップと補助ハンドルをしっかり持ちます。

## 8. 切断を終了します。

メインスイッチ 4 から指を離すと、のこ刃 24 が止まります。



### 注意

▶ のこ刃 24 が完全に止まるまで、本体を床やテーブルなどに置かないでください。

▶ スwitchを切ったあと、のこ刃の動きを無理に止めないでください。

## 温度コントロール／過負荷保護表示ランプ

温度コントロール／過負荷保護表示ランプ 17 が、バッテリーの過熱または、モーターの過負荷を知らせます。

温度コントロール／過負荷保護表示ランプ 17 が点灯すると、バッテリー 2 の温度が高くなりすぎて、自動的に本機のスイッチを切ります。メインスイッチ 4 から指を離し、バッテリー 2 を冷ましてから作業を再開してください。

温度コントロール／過負荷保護表示ランプ 17 が点滅すると、本機が遮断され、自動的にスイッチが切れます。材料から本機を離してください。遮断状態が解消すると、作業を続けられます。

## 電子セル保護システム

本機には、電子セル保護システム（ECP機能）がついております。

本体が過負荷になった場合や、バッテリーが過放電または作業可能温度外になった場合には、バッテリー保護のために本体が自動的に停止します。

## 平行ガイドを使用して切断する (図 D 参照)

平行ガイド **33** (標準付属品) を使用すると、材料の端と平行に正確な切断ができ、同じ寸法の切断ができます。

平行ガイド **33** を使用して切断を行うときは、下記の手順で作業してください。

1. 平行ガイド **33** をベースプレート **7** のガイド取り付け部に差し込みます。
2. 平行ガイド **33** を材料の側面に当て、切断する幅を設定します。  
のこ刃 **24** の厚みにより、希望の切断寸法と実際の切断寸法に、差が出る場合があります。  
のこ刃 **24** の厚みを測り、平行ガイド **33** の位置を調節してください。
3. 平行ガイド固定ネジ **8** を締めて、平行ガイド **33** を固定します。
4. 平行ガイド **33** を材料に押し当てながら、丸のこ本体を一定の速度で動かして切断します。

(切断については、「切断する」を参照してください)

**備考：**平行ガイド **33** と吸じんシステムを使用して切断する場合は、初めに吸じんホース **31** を接続した吸じんアダプター **30** を取り付け、次に平行ガイド **33** を取り付けます。平行ガイド **33** と吸じんアダプター **30** の取り付けには、専用のネジを使用してください。

## 角材などを使用して切断する (図 E 参照)

角材などを使用して平行切断を行う場合は、切断材料と角材などを固定具 (ネジ式クランプなど) で確実に固定してください。切断作業は、ベースプレート **7** を角材などに押し当てながら、丸のこ本体を一定の速度で動かしてください。

## 吸じんシステム (別売) と接続する (図 B 参照)

ボッシュマルチクリーナーと接続することで、吸じんしながら作業ができます。

### 警告

- ▶ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、吸じんシステムと接続するときは、丸のこ本体からバッテリー **2** を取り外してください。
- ▶ 切断する材料に合ったマルチクリーナーを使用してください。健康に有害な、または発がん性の乾燥した粉じんを吸引するときは、専用マルチクリーナーを使用してください。

### 注意

- ▶ マルチクリーナーが接続されていないときは、吸じんアダプター **30** を接続しないでください。排出口が詰まる恐れがあります。
- ▶ 吸じんアダプター **30** には、ダストバッグまたはダストボックスは接続しないでください。排出口が詰まる恐れがあります。

**備考：**吸じんホース **31** は別売です。

1. 吸じんアダプター **30** をベースプレート **7** に吸じんアダプター固定ネジ **29** で固定します。
2. 吸じんホース **31** (φ 35 mm) を吸じんアダプター **30** に接続します。
3. 吸じんホース **31** とボッシュマルチクリーナーを接続します。

**備考：**マルチクリーナーの接続方法概要については、取扱説明書の巻末に記載してあります。

**備考：**切り粉の排出を最適に保つため、吸じんアダプター **30** は定期的に清掃してください。

## 困ったときは

### 故障かな?と思ったら

- ①『取扱説明書』を読み直し、使い方に誤りがないか確かめます。
- ②充電については、『充電器の取扱説明書』を読み直します。
- ③次の代表的な症状が当てはまるかどうか確かめます。

症状	原因	対処
メインスイッチ <b>4</b> を引き込んでも、回らない	バッテリー <b>2</b> が消耗している (電子セル保護システムが作動した)	バッテリー <b>2</b> を充電するか、交換する
	バッテリー <b>2</b> の温度が最適温度範囲外になっている	バッテリー <b>2</b> が最適温度範囲内になるまで待つ
	本体の温度が最適温度範囲外になっている	作業可能温度範囲内になるまで待つ
切断に時間がかかる (切断できない)	のこ刃が摩耗している	のこ刃を交換する
メインスイッチ <b>4</b> が引き込めない	安全ロックスイッチ <b>3</b> が安全ロックの位置になっている	安全ロックスイッチ <b>3</b> を左右どちらかに押し込みながらメインスイッチ <b>4</b> を引き込む
充電しても、フル充電しない。または、フル充電しても、使用時間が短い	バッテリー <b>2</b> の寿命が尽きた	バッテリー <b>2</b> を交換する

### アフターサービスと使用上お困りの際には

製品の保守管理と修理または交換部品についてのご質問は、ボッシュサービスセンターで対応いたします。  
ご質問には、サービスチームが対応いたします。

### 修理を依頼するときは

- ◆取扱説明書を読んでもご不明な点があるときは、お買い求めの販売店または弊社コールセンターフリーダイヤルまでお尋ねください。
- ◆修理を依頼されるときは、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターにご相談ください。
- ◆この製品は厳重な品質管理体制の下に製造されています。万一、本取扱説明書に書かれたとおり正しくお使いいただいたにもかかわらず、不具合 (消耗部品を除きます) が発生した場合は、お買い求めの販売店または、ボッシュ電動工具サービスセンターまでご連絡ください。弊社で現品を点検・調査のうえ、対処させていただきます。お客様のご使用状況によって、修理費用を申し受ける場合があります。あらかじめご了承ください。

### コールセンターフリーダイヤル 0120-345-762

土・日・祝日を除く、  
午前 9:00 ~ 午後 6:00

※携帯電話からお掛けのお客様は、TEL. 03-5485-6161 をご利用ください。コールセンターフリーダイヤルのご利用はできませんのでご了承ください。

### ボッシュ電動工具サービスセンター

〒360-0107 埼玉県熊谷市千代 39  
TEL 048-536-7171 FAX 048-536-7176

### ボッシュ電動工具サービスセンター 西日本

〒811-0104 福岡県糟屋郡新宮町の野 741-1  
TEL 092-963-3486 FAX 092-963-3407

## お手入れと保管



▶ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、お手入れをするときは、丸のこ本体からバッテリー2を取り外してください。

### クリーニング

- 通風口や保護カバー 20 などの切り粉、ホコリを取り除く。
- 乾いた、柔らかい布で本体の汚れを拭き取る。

保護カバー 20 は常に自由に動き、自動的に引っ込まなければなりません。保護カバー 20 の周囲は常にきれいにしてください。粉じんや切り粉は圧縮エアで吹き飛ばすか、ブラシで落としてください。

表面処理されていないのこ刃 24 は、オイルを薄く塗っておけばさびの発生を防止できます。使用前にはオイルを拭き取ってください。オイルが付いたままだと、木材が汚れます。

樹脂や接着剤などがのこ刃 24 に付着していると、きれいに切断できません。使用後はすぐにのこ刃 24 を清掃してください。

### 保管

- 丸のこを使った後は、きちんと保管する。
  - 子供の手が届く所、または錠が掛からない所に置かない。
  - 風雨にさらされる所、湿度の高い所に置かない。
  - 直射日光が当たったり、車中など高温になったりする所に置かない。特に、バッテリーは - 20℃ ~ + 50℃ の範囲で保管してください。
  - ガソリンなど、引火性が高いものの近くに置かない。
  - ショートを防ぐため、バッテリー端子に絶縁テープを貼ってください。

## 輸送

リチウムイオンバッテリーは、バッテリーに含まれる金属リチウムの量によって、梱包方法や輸送方法、特例規定が定められています。使用者がバッテリーを陸上輸送する場合には、その限りではありません。

第三者（例：空運・海運業者など）が輸送する場合には、梱包・ラベル表示について、特別な規則に従う必要があります。発送する前に、専門家に助言を得る必要があります。

バッテリー外面にキズなどある場合は、輸送しないでください。

露出した端子などにはマスキングをして、梱包内部で動かないように荷造りしてください。

必要な場合には法律に従ってください。

## 廃棄



電動工具・充電用バッテリー・付属品・パッケージなどは、法令や各自治体の定める方法に従って分別処理してください。

### 使用済みバッテリーのリサイクルにご協力ください

ポッシュは一般社団法人 J B R C に加盟し、使用済みバッテリー工具用バッテリーのリサイクルを推進しております。

恐れ入りますが使用済みのバッテリーは、ポッシュ電動工具取扱店、ポッシュ電動工具サービスセンター、または J B R C リサイクル協力店へお持ちくださいますようお願いいたします。



<http://www.jbr c.com>



Li-ion

この電動工具は、リチウムイオンバッテリーを使用しています。リチウムイオンバッテリーは、リサイクル可能な貴重な資源です。

使用済みバッテリーのリサイクル活動にご協力くださいますよう、お願いいたします。ご使用済みのリチウムイオンバッテリーは、電動工具本体から取り外し、ショート防止のためバッテリー端子部に絶縁テープを貼ってお出してください。



AL 1115 CV  
(10.8 V)

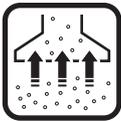


10.8 V、1.3 Ah / 2.0 Ah

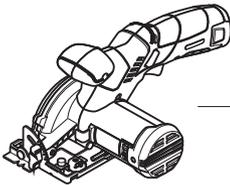


AL 1130 CV  
(10.8 V)

※別売アクセサリーについては、ボッシュカタログまたはホームページ(<http://www.bosch.co.jp>)をご覧ください。



### マルチクリーナーの接続



吸じんホース (別売)



マルチクリーナー (別売)  
PAS…型

※ホース(システム)アダプターは、マルチクリーナーによって異なります。  
詳しくはボッシュカタログまたはマルチクリーナー本体の取扱説明書を参照してください。